



冬の動物園は4月8日まで!  
(4月9日~27日は夏の開園準備のためお休みします)

# ASAHIYAMA ZOO

発行所

旭川市旭山動物園  
動物図書館  
☎ 36-1104

## あざらし館のサケ、放流へ

3月に入り、だいぶ寒さも和らいできました。さて、この冬もあざらし館では、川のおもしろ館の協力で、シロザケの稚魚を展示しています。あざらし館に入っすぐ水槽で見られます。

シロザケの稚魚は12月下旬、直径8mmほどのタマゴからふ化しました。お腹の大きな赤い袋には、栄養がはいって、「さいのう」とよばれています。それが、日に日に小さくなり、だんだんとサケらしくなってきました。そしてこの春、ここにいる稚魚たちを放流することになりました。あざらし館で見られるのはあと1ヶ月ほど。川へと旅立つ前に、ぜひご覧ください。

また、放流会の参加者も募集しています。くわしくは川のおもしろ館に問い合わせしてみてくださいね。

### サケの放流会のお知らせ

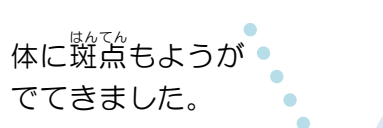
シロザケの稚魚を石狩川に放流します。ぜひご参加ください。  
4月7日(土) 10時~  
事前にお申し込みが必要です。(定員100名)  
くわしくは川のおもしろ館までお問い合わせください。  
川のおもしろ館 Tel0166-24-8430



2/28 体長がおよそ4cmほどになっています。



さいのうが完全になくなり、エサをたべはじめます。



体に斑点もようがでてきました。



さいのうがめだたなくなってきました。



だんだん体の色がこくなってきました。



### 2011.12.14~ シロザケの観察記録

12月14日から、シロザケのタマゴ200匹の展示開始



タマゴの大きさはこれくらい(直径8mmほど)

大きなさいのうには栄養がいっぱい!

23日から、数日間に渡って、次々とふ化はじまりました。

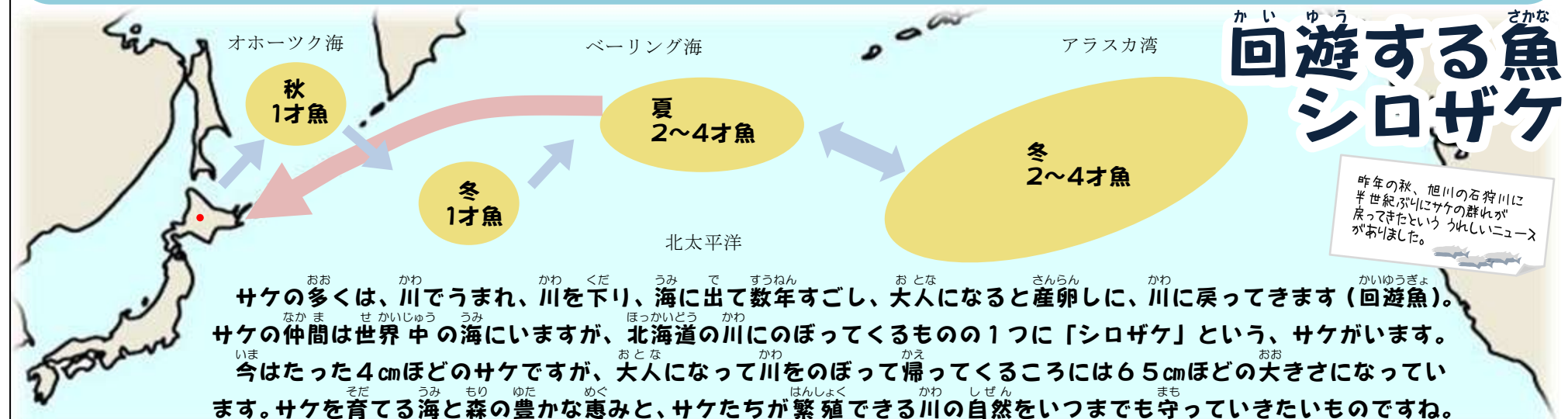
さいのうが小さいうちは水そうの底で、じっとしていました。

稚魚の大きさはこれくらい(2.5cmほど)

からだは白っぽくすきとおってみえます



さいのうがある間はエサを食べなくても平気!



放流したシロザケが 海での暮らしを終え、いつか石狩川に帰って産卵できるといいね。